

地元の小学校に有機野菜 豊中のBio・マーケット

有機野菜などの販売業を営む株式会社Bio・マーケット（豊中市）（以下、Bio）は、北摂の小学校給食において有機野菜の利用推進に力を入れている。

2015年度は茨木、吹田、豊中、箕面の4市でBioから約4.4トンの有機野菜が学校給食に取り入れられ、前年に比べ約5,000キロ増となった。茨木市の担当者は「保護者からの評判はよく、今後もできるだけ取り入れたい」。また、吹田市でも「子どもたちに食べさせたいので今後も続けて利用したい」と話す。

2015年度 市町村・品目別 小学校給食への有機野菜納品実績

市町村	品目	kg
茨木市	有機玉ねぎなど	20,482
吹田市	有機玉ねぎなど	13,099
豊中市	有機玉ねぎなど	8,957
箕面市	有機じゃがいも	1,442
合 計		合計 43,980

同社は10年ほど前から北摂エリアにおける小学校給食の登録業者となり、執行役員の石田さんは「商売というよりも、地域

活動を重視している。何よりも、子どもたちに有機野菜をもっと食べてもらいたい」と話す。

日本では、2000年に有機JAS法が、2006年には有機農業推進法が制定された。2008年には54年ぶりに学校給食法が改正され、「食育」を推進する規定も盛り込まれた。小売店や飲食店で有機食材を取り扱うところも増え、一般消費者の関心も高まっている昨今だが、日本の学校給食における有機農産物の使用は少ない。

学校給食での有機農産物の使用量が増えれば、生産量も確保でき、価格にも反映できると石田さんは考えている。

※有機農産物とは…種まきや植え付け前の2年以上及び栽培中に、原則として化学合成肥料や農薬を使用しない農産物（穀類、野菜、果実、畜産物など）のこと。収穫後他の農産物と混ざらないように国の認証制度によって管理されている。



8月、北海道にあるBio提携の玉ねぎ農場の様子。この後畑で干し列車輸送で関西に。新学期の子どもたちの給食に使用される。

安心できる居場所づくりを 「ぐーてんこども食堂」

ユースで耳にすることが増えた「こども食堂」。全国各地で孤食を減らすなどの目的で徐々に開設が増えてきている。その1つ、豊中市の南部・庄内で居場所づくりや就労支援などの活動を行っているNPO法人「ZUTTO」は、「とよなか夢基金」※助成事業の支援を受け、「みんなで楽しくあったかいご飯を食べてほしい」という思いで「ぐーてん子ども食堂」を開催している。

子どもの参加費は無料で、通常毎月第2・4月曜日の月2回の開催。午後5～6時を宿題タイム、午後6～8時を食事・遊びタイムとして設定。20人弱の地元の子どもたちが毎回集まっている。食材は提供を受けたものや、寄付から購入して調達。ここに来ている子どもたちの多くは、親が仕事で帰りが遅いため、終了後はボランティアやスタッフが家まで送り届けている。



取材した日は夏休みということもあり、早くから子どもたちが集まってにぎやかな雰囲気だった。宿題タイムは、夏休みの宿題をボランティアが教えたり、折り紙で紙飛行機を作って遊ぶなどをしていた。食事タイムになると、ボランティアだけでなく、子どもたちも料理を運んだり、水を入れたり…と積極的に手伝い、年齢に関係なく、困っていたら助ける優しい子どもたちの姿が印象に残った。

口コミで広がっていったという「ぐーてんこども食堂」、「居場所」を必要としている子どもたちが、心地よく楽しい時間を過ごせる場所に思えた。

※「とよなか夢基金」…ボランティア団体やNPO、自治会など市民が行う自発的な社会貢献運動を応援する基金。

〔取材協力〕
NPO法人 ZUTTO
ぐーてんHP:<http://guten.npo-zutto.com/>

JR高槻駅に 特急「はるか」が停車

今年3月26日、JR高槻駅に関西特急「はるか」の停車がスタートした。下り関空方面に午前中1日4本、上り京都方面に午後10本、計1日14本停車する。これにより高槻市と関西空港間を約70分で往来でき、交通便利性の高いまちとして、さらに向上したことになる。国内外の旅行者の誘致や産業の活性化にも期待したい。

また同日にはJR高槻駅の新ホームも利



真宗大谷派 茨木別院の本堂などが 国の登録有形文化財に

茨木市別院町の真宗大谷派（東本願寺）茨木別院の本堂などが、この度、国の登録有形文化財（建造物）に登録されることが決まった。

茨木別院は東本願寺第12代法主の教如上人（1558～1614）が茨木城主、片桐氏から城内の一部の寄進を受け建立。別院本堂は慶長8年（1603年）11月に完成し、その後も工事は進められ別院としての諸殿



が完備したのは慶長11年（1606年）のこと。今回登録が決まったのは江戸中期～後期に建造された本堂、太鼓楼、鐘楼。拝観時間は平日午前9時～午後5時。（茨木市別院町3-31。阪急茨木市駅下車徒歩2分）

街全体で子どもを見守る 最新システム「otta」

箕面市は、今年4月から、子どもの安全確保のためにスマホを使った新しい見守りシステム「otta」（オッタ）を導入した。

市内の公立小中学校に通う全児童生徒（約11,000人）にマカロン型の防犯ブザーを兼ねた小型発信機を無償で配布。発信機を持った子どもが市内にある検知ポイント近くを通ると位置情報がサーバーに通知され、いざというときに教育委員会や学校が子どもの位置を確認できるサービス。保護者が日ごろ子どもの位置情報を確認したい場合は、『otta』というアプリをダウンロードしておけば、スマホで随時見ることができる（実証実験を行っている箕面市では、アプリ使用料は9月末まで無料。以降は月額324円（税込）必要）。

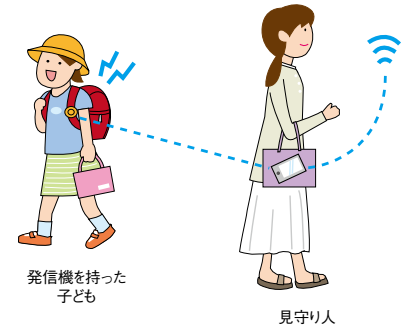


「otta」のスマホ画面

無料の『otta見守り』アプリをスマホにインストールすると、検知ポイントとして「見守り人」になる。発信機を持った子どもがその「見守り人」の近くを通ると、子どもの位置情報としてサーバーに通知される。

検知ポイントが増えるほど子どもの足どりを詳細に掴め、安全性は高まるので、市内を歩く人にも参加を呼びかけている。なお、すれちがった子どもの個人情報は見守り人には通知されず、見守り人の個人情報がサーバーに送られることもないという。

今後は、高齢者にも小型発信機を配布し、高齢者の見守りに活用していく。



小学生になると行動範囲が広がり、心配は尽きない。親からの自立や自主性も大切だが、安全は確保しておきたい。

〔問い合わせ先〕
株式会社ottaコールセンター
TEL: 0120-762-700
MAIL: support@otta.me

「北摂でもクマが出没」 正しい知識で被害防止を



近年、全国的にツキノワグマの出没による人身被害が深刻な問題となっている。北摂地域ではここ数カ月の間に複数の目撃情報が寄せられている。

8/10、箕面市箕面の箕面ドライブウェイ道路上でも大型犬ほどの大きさのクマと思われる動物の目撃情報があつたばかり。ツキノワグマの繁殖行動が活発化する初夏以降は、オスの行動範囲が広まるため、通常生息していない府内地域でも出沒する恐れがあるとのこと。

山中や集落を問わず、クマを目撃した場合や痕跡を見つけた場合は、市町村や警察に連絡を。

ツキノワグマの出没情報（7月以降）

発生日時: 7月10日 午前9時20分頃及び午後1時頃 市町村: 高槻市、島本町 高槻市川久保と島本町大沢の境界付近の道路上（府道伏見柳谷高槻線沿い）で1頭目撃。
発生日時: 8月5日 午後8時15分頃 市町村: 高槻市 高槻市二科（民家から50mの府道柚原向日線道路上）で1頭目撃。
発生日時: 8月7日 午後6時15分頃 市町村: 高槻市 高槻市萩谷（萩谷総合公園内及び林道市後谷線入り口から約100m入ったところ）で1頭目撃。
発生日時: 8月9日 午前6時50分頃 市町村: 茨木市 茨木市上音羽（府道余野茨木線道路上）で1頭目撃。
発生日時: 8月10日 午前9時30分頃 市町村: 箕面市 箕面市箕面（府道豊中亀岡線「箕面ドライブウェイ」大日駐車場～箕面ビジターセンター間）で1頭目撃。

取材協力: 大阪府環境農林水産部 動物愛護畜産課 野生動物グループ TEL:06-6210-9619 <http://www.pref.osaka.lg.jp/doubutu/yaseidoubutu/>

ツキノワグマの被害を防ぐには

- ハイキングなどで山に入る場合は、地域の出没情報をよく確認しましょう。
- 山に行くときは、クマとの遭遇を避けるため、単独行動を避け、ラジオやクマ鈴など音が出るものを身に付けましょう。クマ鈴は登山用品店等で購入できます。
- 集落等にクマが出没した場合は、誘引物となるゴミ、野菜くず、果樹等を取り除きましょう。住宅や道路周辺にクマが潜みやすい藪がある場合は、刈り取って見通しをよくしましょう。果樹園や養蜂箱は、電気柵で守りましょう。

もしクマに出会ってしまったら…

- (1) 近くにクマがいることに気がついたとき
 - 落ち着いてゆっくりとその場から離れましょう。
 - その際、クマに背を向けずにクマを見ながら、ゆっくり落ち着いて後退して下さい。
- (2) すぐ近くで出会ったとき
 - あわてた人の急な動作で驚いて、攻撃してくることがあるので、冷静に、あわてず、クマが立ち去ってからその場を離れましょう。
 - 突発的におそれたら、両腕で顔や頭をガードして、大ケガを避けましょう。
- (3) 子グマを見たら
 - 近くに必ず親グマがいます。近づいたりすると子グマを守るため襲ってくる可能性があります。すぐにその場から立ち去りましょう。